

# にけーしよん

2/20

## 伊予銀行賞受賞!ふるさとCM大賞えひめ



松前総合文化センターで、県内20市町24作品がエントリーした愛媛朝日テレビ主催の「ふるさとCM大賞えひめ '11」(30秒のわが町自慢CM)公開審査会が行われ、本町から愛南ディレクターズ(愛南リポーターズ)が出品した「よりそうまち」が、第5位にあたる伊予銀行賞を受賞しました。

昨年11月に行われた「ふるさと一本松祭」の満開に咲くコスモス畑をバックに、愛南町に暮らす人々の「やさしさ」を表現したCMに仕上がっています。なお、副賞として4月から半年間に40回、このCMが無料で放送されます。愛南町の名を強くPRしてくれるものと期待します。

2/26

## あいなん磯釣大会2011!

西日本屈指の漁場、西海・内海地域の海域で、今年で5回目となる「あいなん磯釣大会2011」が行われ、県内外から165名の釣りマニアが腕を競い合いました。この大会は、愛南マリノイベント実行委員会と中泊・西海南部・内海の各渡船組合などによって、国内有数の釣りポイントが多い愛南町をPRしようと毎年開催しています。

高知市の田辺大信さんが、グレ長寸の部(50.2cm)・同重量の部(3匹の合計5.26kg)で優勝しました。他魚の部では八幡浜市の宇都宮洋二さん(76.5cmのハマチ)、レディースの部では大坂市の大城文子さん(36.5cmのグレ)がそれぞれ優勝されました。



うみびより  
本日!海日和!!

## 「山の神が愛した魚」

田植えが始まり、山の神が吹かせたのか、さわやかな風が苗の間を吹き抜けていきます。山の神は、稲を守る女の神様ですが、あまり美人でないらしく、そのせいか自分よりも醜い顔の魚を見ては喜んでいました。

驚くことに愛南町では、その「山の神」が売られています。ミノカサゴという魚です。さっそく買って食べてみると、白身でほのかな甘みがあり、とてもおいしかったです。ミノカサゴが山の神と呼ばれているということは、両者の間につながりがあったはず。山を鎮めるときや豊作を祈るときに、ミノカサゴをお供えしていたのかもしれませんが。ミノカサゴと山の神とのつながりを知っている方は、ぜひ中浦小学校(75-0432)西尾まで御連絡ください。

魚と人との間にも、愛南町特有のつながりが見え隠れして興味深いですね。  
(写真「ハナミノカサゴ」2010.6.27 鹿島 水深8m)環境省自然公園指導員 西尾知照





# 愛南こみゆ

## 2/12 医療的ケアについて考えよう!ありんこくらの催し

一本松交流促進センターで、障害児の親の会「ありんこくらぶ(宮崎和友会長)」による「第13回ありんこくらの催し」が行われ、約100名が参加しました。

第1部では、NPO法人医療的ケアネット理事の篠原文浩さんを講師に、「医療ケアって大変なことなの?」

と題した講演会が開催されました。篠原さんは、重い障害児との出会いなど自らの体験談から、医療的ケアの法的制約やサービス不足に関する問題点を熱く語っていただきました。

第2部では、原因不明の病気で気管切開を余儀なくされたものの、

「歌いたい!」という強い思いから声を取り戻したソプラノ歌手、青野浩美さんのコンサートが行われました。青野さんは、「何事もあきらめず、チャレンジすることで可能性を見だし、工夫することで可能性を広げていくことが大切」と話されていました。



合唱団コスモス



愛南町少年少女合唱団



平城小学校音楽部

## 2/13 みんなで歌おう!愛南コーラスフェスティバル

御荘文化センターで、「第5回愛南コーラスフェスティバル(主催 合唱団コスモス)」が開催され、町内から合唱団コスモス、愛南町少年少女合唱団など5団体、町外からは宇和島少年少女合唱団など3団体の計8団体約250名が出演し、それぞれ自慢のハーモニーを披露しました。最後に会場全体で「ふるさと」を合唱して締めくくりました。



リーフレット

## 2/19 自然の大切さを学ぼう!

南レク長洲園地と南レク松軒山公園で、日本野鳥の会愛媛県支部会員4名を講師に「平成22年度野鳥自然観察会」が開催され、児童や保護者など約20名が、山に生息する野鳥や動植物を観察し、ふるさとの自然や環境保全の大切さを学びました。

